

2023年10月28日（土）

時間	ルーム	団体名	テーマ
14:10~14:30	1	聴く・集める・残す——質的アーカイブの可能性	消えゆく歴史の質的データ収集と、そのアーカイブ
	2	Rits CLO	アパレルの資源循環とサステナブルファッションの促進
	3	RitsSec	高度なサイバーセキュリティ人材を育成するプログラムを実施する
14:30~14:50	1	Art and Science of Awe Gastronomy (ASAG, 食の実験クラブ)	実験的な料理と食の場の創造を通して、ウェルビーイングを高めることを科学する。
	2	滋賀ログ	まだ気づかれていない滋賀県の魅力発信
	3	自転車出入庫記録管理システムを作る団体	駐輪場自転車管理実験
14:50~15:10	1	立命館大学イノセンプロジェクトジャパン (IPJ) 学生ボランティア	えん罪のない公正な刑事司法や安心な社会を作るための広報・啓発
	2	遊びてつなぐ	多様性と異文化への理解を遊びながら学べるように
	3	Hack	キャンパス内・キャンパス間の人の交流の促進
15:10~15:30	1	ガクセイEnglish	バディ制度を用いた海外の学生との言語交流オンラインサービス及びプラットフォームの開発
	2	超KATTEDON実行委員会	個人店を日本文化として後世に紡ぐまちづくりの開発。
	3	NeiPia合同会社	社会問題・社会課題だけを伝えるピッチコンテスト「What's the Problem」の開催
15:30~15:50	1	potential	アクセサリから始まる電子廃材を輝かせるプロジェクト
	2	Ritsumeikan Food Bank	Volunteer activities to solve food insecurity on campus
	3	国際会計研究会	正課の範囲を超えるUSCPA志望学生の組織化と相互学習の機会提供
15:50~16:10	1	MOUantAI	理工学部電子情報工学科 孟林准教授の画像認識AI技術を用いた新規事業開発
	2	京都府立特別支援学校スポーツ交流事業プロジェクト	特別支援学校のスポーツ交流事業を核とした地域連携並びに多主体協働共生
	3	x-sign	日常としてのデジタル日本庭園〜心地よいノイズ〜

2023年10月29日（日）

時間	ルーム	団体名	テーマ
14:10~14:30	1	WITH US コネクト	美味しい代替肉を日本に周知し、新たな食の選択肢として日常に溶け込むエコな新時代を創る。
	2	きぬがさ農園Kreis	SDGs 達成を目指し、大学職員と地域の方々で作るきぬがさ農園Kreis
	3	FoodFul	離乳食で不安を抱えるママパパと親御さんを助けたい専門家を繋げる「チルドッシュイベント」
14:30~14:50	1	ぎゅっと滋賀	滋賀県の魅力をお土産開発を通して全国に伝える
	2	カモシネマ18実行委員会	鴨川河川敷での清掃活動、映画上映会を通して地域の憩いの場としての鴨川を守る
	3	Uni-Com	大学食堂から出る廃棄食材の堆肥化を主軸とした、学内における資源循環の達成
14:50~15:10	1	学生団体カノール	農業を当たり前にする
	2	inexpop.FKI	ウィズコロナ時代における地域の交流人口を拡大するための施策 - 福井県を事例として -
	3	環境ボランティア団体 satoniwa	大川を中心とした滋賀の自然環境の保全・活用に取り組み、地域が一つになれる共同体を作る
15:10~15:30	1	Sustable (sustainable + table)	SDGsの達成を目標に、食を軸として多角的なアプローチを行い、食を通して幸せを広げる
	2	E/SASV Games	仮想空間におけるクルーレス・ソーラーボートのプラットフォーム開発
	3	Bottle To Bottle	ボトルを再びボトルに戻すサイクルの仕組みを企業と構築し立命館大学に浸透させる。
15:30~15:50	1	LiNK	Plantbased food for sustainability and diversity
	2	アナログIC系Vtuber「三葉りん」計画	半導体に関する専門知識を、広く、わかりやすく、無料で発信する
	3	「立命の家inいばらき」実行委員会	茨木市内の小学生に大学生との交流を通じた学びの機会を提供し、地域活性化を目指す
15:50~16:10	1	学生団体BohNo	食を通して若者の視野を広げるきっかけづくり
	2	立命館重機部	重機を操縦することができる人が集まるコミュニティを作り、魅力を発信し、興味を持ってもらう。
	3	バリア体験型カフェプロジェクト	ユニバーサルな社会の実現に向けたバリア体験型カフェ